

令和 5 年度 社会福祉法人秋桜会
湊高台こども園事業報告書

1 湊高台こども園の運営

(1) 定員

1号認定（教育）	15名
2・3号認定（保育）	82名
合計	97名

(2) 年齢別・月別入園園児数（各月初日現在）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2歳児	26	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27	27
3歳児	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29	29
4歳児	21	21	21	21	21	21	21	21	21	21	20	20
5歳児	19	19	20	20	20	20	20	20	20	20	20	20
計	95	96	97	97	97	97	97	97	97	97	96	96
うち1号	10	11	11	11	12	13	13	16	16	16	16	16

(3) 職員配置 別紙1

(4) 会議の開催状況

	回数	内 容
職員会議	13回	職員への伝達や職員一人ひとりの倫理観、職務及び責任の理解など、共通認識を図る。また、行事の打ち合わせや反省、今後の課題などを話し合う。
ケース会議	5回	配慮が必要な子の様子について職員全体に周知し、具体的な関わりについての理解を図る。
給食会議	12回 (月1回)	各クラスの喫食状況や分量等を報告しあったり、献立や行事食についての打ち合わせなどを行う。
事故防止委員会	5回	ヒヤリハットの検証や事故防止のための具体的な手立てについて話し合う。また、事故が起こった場合には都度集まり、再発防止策を話し合う。

2 教育保育の実施状況

(1) 教育保育内容

教育保育目標達成のために、次のような実践に努めた。【資料1】

縄跳び	縄を使った遊びを楽しみ、心身の発達や体力増進のために、毎朝縄跳びをする。
戸外遊び	外で身体を大きく動かすことにより、体力づくりをしたり、自然環境に触れることにより五感を刺激する。
集団あそび	集合遊びやルールのある遊びをたくさん取り入れ、社会生活、道徳性、知識や技能の発達を促す。
用具を用いた運動	身体の動きをコントロールしながら身体感覚を高め、跳ねる、跳ぶ、降りる、よける、滑るなど全身のバランスを取る能力を身につける。
菜園活動	夏野菜や根菜類などの苗植えから収穫までを自分たちで行い、収穫の喜びを体験する。
音楽リズム教室 (リトミック遊び)	音楽そのものと表現を楽しみ、感じる心を育て、社会性を育む。また、楽器に親しみ、発表会で合奏・合唱の発表を行う。
水泳教室	スイミング教室への引率を行う。水に親しみながら、健康な体作りを行う。
英語教室	アルファベットに興味を持ち、ゲームや英会話を楽しみながら正しい発音を身につける。
サンサン教室 (運動あそび)	動く、見る、聴く、言語などで遊びながら、脳と身体の発達を促す。
当番活動	給食配膳や日常生活の中で、自分の役割に責任を持って行動し、友達と協力すること、我慢することなど経験を通して学ぶ。
異年齢交流	異年齢の関わりを大切にし、クラスの枠や年齢の差を超えた子ども同士の交流を行う。

(2) 外部講師の指導状況

指導内容	講師名	指導回数
水泳教室	ウイング（指導員）	火曜日（全24回）
英語教室	清水 つかさ	月曜日（月3回全36回）
リズム教室	小笠原 美弥子	木曜日（月3回全36回）
たいようサンサン教室 (運動あそび)	川口 太陽	月1回（全10回）

(3) 実施した主な行事 別紙2

3 給食の実施状況【資料2】

- 旬の食材を利用して献立に変化を持たせるようにした。
- 栄養管理システムを活用し、献立表にカロリー表示や詳しい食材等の表示を行った。
- 季節や行事にあった献立（行事食）を取り入れた。また玄関に給食の展示を行い、人気メニューの配布を行った。
- 咀嚼や嚥下機能、発達状況などを観察しその発達を促すことが出来るよう、食品の種類や調理方法に配慮した。
- 栄養士、調理師が各クラスに入り、子どもたちの食事の様子を見たり、味の感想を聞いたりしながら献立や調理の方法の参考にした。

(1) 2歳児

完全給食に加え、10時と15時のおやつを実施した。

(2) 3歳以上児

完全給食と15時のおやつを実施した。

(3) 手作りおやつ

おやつは園児にとっての食事の一部として重要であるので、平日は手作りおやつを実施した。

4 健康管理の実施状況

(1) 園児

- 毎月、身体測定を行い、計測値は身長体重測定表に記入した。
- 毎月園だよりを発行し、健康管理や感染症などの注意を促した。
- 健康診断
内科健診 嘱託医 富本和彦 先生
歯科健診 嘱託歯科医 澁田大路 先生
健診当日に欠席した園児は後日受診し、全園児の健康管理に努めた。
- アレルギー児への対応
園児全員に対し調査を行いアレルギーのある園児に対してはかかりつけの病院の診断結果を提出してもらい、それらを職員全員で共有している。（5名 クルミ、バナナ、長芋、乳、パイナップル、キウイ）
- 机、扉やおもちゃなど、よく使うものや手が触れるところは消毒を徹底し、感染対策を行った。
- 感染症が出た場合は、玄関のホワイトボードで感染状況を知らせ、保護者への注意喚起を行った。

- 園関係者に新型コロナウイルス感染が確認された場合は、速やかにアプリで一斉配信にて保護者へお知らせし感染拡大の防止を図った。

(2) 職員

- 八戸市総合健診センターによる健康診断を11月に実施。また、健診結果を産業医に見てもらい、助言いただいた上で本人にも再度受診を勧めるなど、職員の健康管理に努めた。
- 毎月、専門業者に依頼し、赤痢菌、サルモネラ菌、腸管出血性大腸菌の検査を、給食担当に対して行った。

5 防災訓練の実施状況

(1) 避難訓練の実施 【資料3】

- 避難訓練、模擬消火訓練 10回（月1回）
- 総合避難訓練 年2回

(2) 不審者侵入対策訓練

- 安心教室 年2回

(3) 交通安全教室

毎月1回、正しい交通ルールについて、紙芝居やパネルシアター、DVDの視聴などで楽しく学び、また園外保育に出かける際に実際の道路で正しい交通ルールを知らせた。

6 地域活動

- ・ 夏祭り 園児と、保護者などで実施。
- ・ 風鎮祭へ風鈴を出展。（年長組）
- ・ 防災広場、勤労感謝の日（東消防署）

7 研修

外部研修 20回 のべ26名（Webでの研修4件）うち4名がキャリアアップ研修
園内研修 4回 内容（人権、感染症、事故防止、ハラスメント）

8 実習生、職場体験の受入

(1) 教育実習生

八戸学院大学短期大学部 1年生1名、 2年生1名

(2) 看護実習生

八戸市立高等看護学院の看護実習 計15名

(3) 職場体験学習

県立八戸商業高等学校 2年生 3名

八戸市立東中学校 2年生 3名

9 施設設備

(1) 施設の改築・修繕（100万円以上）

対象なし

(2) 固定資産物品（10万円以上）の購入

購入日	内容	金額（円）
令和5年6月2日	給食室ガスコンロ	440,000
令和5年6月5日	おがーるシステムタブレット	110,000
令和5年12月26日	事務室石油ストーブ	126,500

10 園評価報告

別紙3参照